



つのもちよう

第54号

議会だより



夏、爽涼な天狗高原

6月定例会

平成30年8月1日発行

主な紙面

発行 高知県津野町議会
☎(0889)55-2038
編集 議会だより発行調査特別委員会
発行責任者 議長 大崎公孝
印刷 笹岡印刷所

平成30年度一般会計補正予算	2P
行政報告	4P～5P
町政を問う（3人が一般質問）	6P～9P

一般会計補正予算

6月定例会

天狗荘リニューアル
基本構想・基本設計等

8,200万円を増額

総額55億9千800万円

6月定例会は、6月8日から13日までの6日間開かれ、平成30年度の一般会計補正予算、専決処分等14件が提出され、いずれも原案のとおり可決・承認された。一般質問には3人が立ち、町長の政治姿勢、産業振興町の将来像等について執行部をたじた。

30年度補正予算

一般会計補正予算(第1号)

総合センター非常用電源設備工事費200万円、防災拠点施設用地購入費等3千947万4千円、天狗荘リニューアルに関する基本構想策定・基本設計委託料2千804万7千円等、歳入歳出8千200万円を増額し、歳入歳出の総額を55億9千800万円とする。

可決(全員一致)

条例の改正

固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

課税免除要件の対象期間は、過疎地域自立促進特別措置法第31条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の改正に連動するよう改正するもの。

可決(全員一致)

津野町分担金徴収条例の一部を改正する条例

平成30年4月1日に「高知県災害関連地域防災がけ崩れ対策事業費補助金交付要綱」が制定されたことに伴う分担金の追加、併せてがけくずれ住家防災対策事業分担金の表示変更について改正するもの。

可決(全員一致)

その他の議案

普通財産の減額貸付について

雇用創出の場として、旧葉山幼稚園の土地建物を株式会社ソーイング・オオサキに貸付するもの。

可決(全員一致)

津野町公の施設の管理に係る指定管理者の指定について

津野町老人福祉センターの指定管理者として「社会福祉法人津野町社会福祉協議会」を指定。

可決(全員一致)

財産の取得について

津野消防団新田分団1部に配備する小型動力ポンプ付き積載車を購入するもの。

可決(全員一致)

平成30年度第7―3号津野町簡易水道(白石1工区)施設整備工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 1億940万4千円
請負者 (有)中山工業

可決(全員一致)

津野町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

平成30年7月1日から同年7月31日までの間に支給する町長、副町長の給与月額を10%減額するもの。

可決(全員一致)

専決処分の承認

▼津野町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴い、平成30年3月30日専決処分。

【主な改正点】

個人住民税基礎控除額の引き上げや、それに伴う給与所得控除・年金控除額の引き下げ。また、地方たばこ税の平成30年10月1日から平成33年10月1日にかけての段階的な引き上げに伴い改正するもの。

承認（全員一致）

▼津野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴い、平成30年3月30日専決処分。

【主な改正点】

基礎課税額に係る課税限度額及び、減額の対象となる所得基準の内、5割軽減と2割軽減の算定基準が変更されたことにより改正す

るもの。承認（全員一致）

▼平成29年度津野町一般会計補正予算（第7号）

各事業の決算精査により1億8千万円を減額し、歳入歳出の総額を61億4千800万円とする。

承認（全員一致）

▼平成29年度津野町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）

事業勘定で保険給付費135万2千円増額、共同事業拠出金1千万円減額し、歳入歳出の総額を9億4千372万5千円とする。

承認（全員一致）

▼平成29年度津野町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

施設管理費120万1千円、施設整備費5千845万7千円、公債費182万4千円を減額し、歳入歳出の総額を5億4千766万9千円とする。

承認（全員一致）

▼平成29年度津野町生活環境施設整備特別会計補正予算（第2号）

維持管理費及び設置事業費等1千780万9千円を減額し、歳入歳出の総額を6千736万2千円とする。

承認（全員一致）

専決処分の報告

▼コミュニティバス停留所標識による車両損傷事故損害賠償

平成29年12月31日、津野町赤木の町道で発生したコミュニティバス停留所標識が強風により倒れ、駐車していた車両を損傷した事故について、和解及び損害賠償額を決定したものの。

臨時議会

平成30年7月9日、第3回臨時議会

▼平成30年度津野町一般会計補正予算（第2号）

葉山中学校修学旅行キャンセル料10万円を増額し、歳入歳出の総額を55億9千810万円とする。

可決（賛成多数）

反対討論 大崎（芳）

キャンセルの負担等について規定がないという事だが、子育て支援という立場から保護者に負担をかけるような配慮をすべきである。

▼平成30年度第7―4号津野町簡易水道（白石2工区）施設整備工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札
契約金額 5千508万円
請負者 (有)西起組

可決（全員一致）



津野町役場西庁舎議場

町長 行政報告



池田町長

◎自主防災組織の育成

町内83地区中、60地区で48の自主防が規約を作成し、30の組織が資機材を整備。「自分の命は自分で守る」という意識と自主防の必要性を理解し、全地区が組織規約を作成することで自助・共助の大切さを念頭に防災力向上に取り組む。

◎災害時の応急対策活動

津野町と町内生コン・砕石事業者の4事業所との間で「災害時の応急対策活動等への協力に関する協定」を締結した。災害時等に行政機能の迅速な復帰や被災者救援活動の実施と地域経済の早急な復興を図るもので、今後も関係機関との連携確認・強化を図る。

◎旧葉山幼稚園の貸付

町有財産の有効活用を目的に公募を行った結果、町内民間企業1社から申請があった。旧葉山幼稚園を活用することで事業規模の拡大や町内雇用の創出と設備投資による作業の効率化を図る計画となっている。申請内容を精査した結果、貸付料の減額と貸付期間を5年間とし、契約更新時には町政環境等を判断することで貸し付けをする。

◎白石地区集落活動センターの開所

白石小閉校以来、白石地区活性化検討委員会を設立し、校舎の活用方法や地域の活性化策について協議を重ねてきた。5月20日の旧白石小学校を拠点にした「集落活動センターしらいし」の開所式は、県立大学生や町民350人余りが参加して看板の除幕・バルーンリリース・餅投げなどで祝った。今後は体験交流活動の充実・特産品づくり・安心安全の生活支援などの活動を計画。



集落活動センターしらいし

◎天狗荘・ふるさとセンター

一般財団法人天狗荘の平成29年度運営状況は、売上額が1億1千622万9千円で前年対比1千72万8千円の減、黒字額は352万2千円の見込み。主な要因は、奥四万十博効果が一段落したことや、8月以降の悪天候と冬場の大雪による大幅な減収。一方、スターウオッチングの実施やセラピーロード等の自然体験、職員の接客と料理はネットの予約サイトの口コミで高い評価を得てリピーター客の増加につながっている。

ふるさとセンターの4店舗の直販物の売り上げは、前年比95・6%。前半は維持できたが、後半は長雨と猛暑や台風の影響か品薄が続き昨年を下回った。全体の売り上げは1億9千775万4千円で前年比97%、約627万円の減収。生野菜を使った加工品の開発を手がけるなどの施策を推進していく。

◎天狗高原・四万十川源流点活性化プロジェクト

天狗荘の整備と天狗高原の観光振興を図っていくとの知事提案を受け、四万十川源流点の観光を含めプロジェクトチームを立ち上げた。現地調査や会議を開催し「津野町観光振興計画」の策定を進め、天狗荘とせいらんの里のリニューアルを検討している。



四国カルスト天狗荘

◎道路整備の要望

5月14日、道路整備促進期成同盟会高知県大会にて「大規模災害への備えに不可欠な高速道路から市町村道に至る道路整備及び防災対策等の推進」「重要物流道路として四国8の字ネットワークを早期に指定、重点整備」「生活道等での交通安全対策」等の8項目を決議。5月17日、道全協通常総会、命と暮らしを守る道づくり全国大会に参加。関係予算の確保活動を行った。

5月22日、高知県市町村道整備促進協議会にて「命の道である市町村道への予算重点配分」「老朽化対策予算の別枠確保」等5項目の決議。

5月25日、国道197号等と439号の整備促進期成同盟会総会が開催され、今年度の要望活動等が承認。

5月21日、全国防災協会総会。5月24日、全国治水砂防協会総会へ参加。

県内では、5月17日に須崎土木事務所長以下21名の職員と移動土木を開催し、国道改良・県道改良・砂防事業・急傾斜事業・河川改良等の要望。

5月28日、高知県議会産業振興土木委員会の業務執行調査時に県道四国カルスト公園線・仁淀東津野線改良工事早期完成、上郷榑原線改良工事の早期計画及び工事着手等の9項目の陳情を行った。



国道四三九号郷工区

片岡邸リニューアルオープン



◎学力向上対策

「教職員の資質・指導力の向上と授業改善」「豊かな心を育むための道徳教育の推進」「学校・家庭・地域が一体となった教育の推進」に力を入れている。4月17日に全国学力学習状況調査が実施され、結果は8月頃に正式に公表される見込み。

◎片岡直輝・直温生家リニューアルオープン

志国高知幕末維新博第二幕の開幕に合わせ、保存改修した生家のオープン記念行事を4月14日に行った。式典には直輝先生のご子孫の片岡久議様、初代社長を務めた大阪ガス株式会社取締役藤原敏正様、直温先生が社長を務めた日本生命保険相

互会社からは、取締役専務執行役員の矢部剛様をはじめ、多くの町民の出席でテープカット・内覧会・記念講演・パネルディスカッションが行われた。片岡兄弟の関わった企業から資料提供があり、企画展の開催・展示をしている。

◎「河田小龍」作ふすま絵

幕末の志士坂本龍馬に大きな影響を与えた人物と知られる画家の河田小龍が、片岡兄弟の幼なじみである谷脇静一宅に逗留し、ふすまなどの建具に数々の作品を描いている。平成15年の県立美術館開館10周年記念企画展に展示されていた虎のふすま絵8枚を含む作品は葉山村が文化財の指定を受けていた経緯がある。町へ売却してもらい、津野町郷土資料館に保管。専門家の意見を伺いながら品質保全と管理に努め、片岡兄弟生家などで企画展を開催するなど地域の活性化につなげていく。



川上 智子

一般質問

問 個人・小規模事業者に対する支援を
答 事業創設に向け取組む

川上 農林業に対する支援に比べ、個人事業者や小規模事業所に対する支援が少ないのではないかと。何を必要としているのかを把握し、町単独の新しい事業で支援を行えないものか。

池田町長 事業者の今求めているものは何か、行政として何ができるのか探る必要がある。しっかりと意見を聞き、情報交換しながら新たな事業展開を図れる事業の創設に向け取り組んでいく。



現事務所（新田）



移転予定地（朝見谷）

問 山の魅力を発信
答 期待している

川上

山元貯木場への森林組合事務所移転を機に、森林・林業の現状と環境保全、木の魅力や森林の生態等に関する学びの場として、町内外に山の魅力を発信するよう取り組むべきでは。また、森林環境学習の取り組みについて、教育現場においてどのように捉えているのか。

池田町長

子ども達や川下、都市住民の方々が山を見て、触れ、森林の状況に関心を持つことは非常に重要なことだと思っている。今回森林組合が設置する施設は、そういった事に活用されるものと非常に期待している。

久寿教育長

山を守ってきた先人達には、次世代の子ども達に山を守って欲しいという願いがある。その想いを大切に地域や保護者の方と共に今後とも森林環境について学習を深めていきたい。

川上

里楽とB&G海洋センターの2か所を健康福祉増進施設と位置付けているが、西地区では利用者が少なく認知度も低い。利用しやすいよう整備すべきではないか。

池田町長

気軽に誰でも健康づくりのために利用できるよう改修した新田にある老人福祉センターに、既存の器具を移設する方向で進める。

問

整備を

答

移設する方向で



老人福祉センター

川上

健康のため自ら運動したり、食生活に気を配り自努力し生活習慣病の予防に努め国保を使用しない方々に対し、健康マイレージポイントをつける等何らかの形をもって敬意を表す事はできないか。

池田町長

医療費削減には早期発見、早期治療が絶対的な条件。まずは健診率アップを図る必要がある。マイレージ事業をはじめてまだ3年。指摘された件も含め今後検討する。

答

検討する

問

国保を使用しない方に

何かできないか

■28年度医療費

1人あたり32万4,156円

年間平均被保険者数1,598人、保険証を使わなかった方166名(約1割。)

1,008世帯中73世帯(約7%)が無受診。

■津野町健康マイレージ事業

平成28年度よりスタートした町民の健康づくり活動の取り組みを応援する制度。健診や町が実施する健康づくり関係の教室や講座、イベント等の参加に応じポイントが付き、500ポイント貯めると町内で使える商品券500円分に交換できる。



大崎健夫

問 お茶事業への支援を！

答 まずは所得アップを



大崎 特産品であるお茶の生産者も高齢化し作業効率の悪い場所でも頑張っている。生産意欲を持続するために肥料や刈り取り機などに補助施策を考えてはどうか。

池田町長 生産意欲を高めるために単価・所得アップにつながる施策を支援していく。

一般質問

問 道徳教育の教科化をどう思うか

答 教員が心をもって子ども達を共に育てる

大崎 合併後13年を経過したが、本庁、西庁の分庁方式が続いている。今後もこの体制を続けるのか。

問 分庁方式を続けるか
答 本庁方式も検討する

池田町長 住民サービスの観点から分庁方式は続いている。同時に、防災対策など指揮命令の体制など本庁方式についても検討しなければならぬ。

大崎 人の道を説く道徳教育が今年度から小学校で教科として実施されている。国家権力の最高機関や文科省・教職員などで道徳に反する不祥事が続いている。教育をする側にとっては困った事だと思うがどうか。

久寿教育長 子供たちが政治情勢をいろいろ見ている中、各教員が自分の心を持って指導していくことが大切であり、それは難しいとは考えずに心豊かに生活できるように子供たちを指導していく。



道徳教育への授業風景

問 コンパクトシティの取り組みは

答 要望を検討



高橋 眞一郎

一般質問

高橋

10年先、15年先の人口推移と人口減による財源確保の考え、都市機能誘導区域と周辺整備の考えは。

池田町長

津野町の人口は12年後の2030年には4091人、2035年には3586人と推定されている。平成27年に都市機能誘導区域等の検討をし、申請を行ったが認定されなかった。今後も要望を検討する。

移住定住促進・若者の流出抑制・転入促進等の項目をあげ、減少率にブレーキをかけることを目指している。

今後、通学支援を含めた子育て支援冊子の発行を早期を目指す。

傍聴記

町の6月議会定例会の一般質問を傍聴しましたが、数名の傍聴者で寂しい感じがしました。また、質問議員も3名で半日のみでしたので、私が今まで傍聴して感じた事も含めて述べたいと思います。

道徳教育の質問がありましたが、それについて思うことがあります。

道徳の教科書に「〇〇君の二塁打」というのがあります。野球のチームの試合で監督の指示はバント。しかし、打てると思った〇〇君はスイングして二塁打となり得点につなげた。後の話し合いで「きまりを守らない〇〇君は悪い」というようになっていきます。少年野球の作戦の指示をたえて「きまりを守る」という道徳教育をしていることはどうかと思います。

私は、きちんとした道徳教育は、命を大切に「人を傷つけてはいけない。自分も傷つけてはいけない。」

「人の物を盗んではいけない。」等、基本的な生き方を教えるべきではないと思います。

以前の一般質問で質問されていましたが、人口の減少、特に児童数が減少しています。中一、小二と幼児を持つ夫婦が、親元を離れ、勤務地の高知市へ転出されました。遠距離通勤は非常にキツイと思います。また、若者の職場も少なく、安い賃金では、結婚・子育ては厳しいと思います。

町の臨時職員の多さと、賃金改善の質問に対して「最低賃金を参考にしている。」等と町長の答弁でしたが、きちっとした改善をしてほしいと思います。

最後に一言、ゴミを少なくし資源の有効活用を研究してほしいと願います。

人それぞれ物の見方、考え方が違う点がありますが、過去数回、議会を傍聴して思いつくままに感想を書きました。

津野町二ツ家 濱部美智子

議会を傍聴してみませんか。

3月・12月（本庁舎議場）
定例会は年4回です。 6月・9月（西庁舎議場）

たくさんの傍聴をお待ちしています。

北海道 浦幌町 訓子府町 を視察研修

両常任委員会では、去る5月13日から15日まで合同で視察研修を実施した。

○北海道浦幌町

議員のなり手不足への危機感から2度の議会活性化に積極的に取り組み、昨年3月には「地方議会議員のなり手不足を解消するための環境整備を求める意見書」を国に提出したことから注目されている。

〔議会活性化の取り組み〕

日曜議会や夜間議会、議会モニター制度、町民アンケートを実施。他にも議員のなり手不足の検証や独自に議員報酬の算定基準を「浦幌方式」として提示するなど町民との意見交換を重ね、積極的に情報発信をしながら議員・議会事務局が一丸となり「チーム議会」として議会活性化に取り組んでいる。

○北海道訓子府町

〔議会基本条例〕

平成30年4月1日より「訓子府町議会基本条例」を施行。

条例は、議会・議員の役割・責務などを明文化し町民に向けた情報公開の徹底、町民からの意見・提言を受け入れる場を確保しながら「より開かれた議会」を目指し、議員の資質向上を図りまちづくりへの政策提言へと結び付ける手段などが明記されている。

〔認定こども園〕

平成28年4月に開設した「わくわく園」の床材には本町の松をふんだんに使用。

誰もが安心して遊べる芝生の中庭（はだしの庭）を中心に行き止まりのな

い回遊性のある廊下で繋がれた町産カラマツの集材を採用した木造の園舎に約160名の園児が通っている。

○研修を終えて

浦幌町と訓子府町では、事前に配布されていた議会改革や議員定数・報酬・なり手不足について予習をしていたため、具体的な内容や経緯等についてより深い意見交換ができた。

本町も近い将来、おこり得る定数不足や若い人の参加についての課題に備え、今から対応をしていかなければならないことを痛感した。

総務常任委員

どんぐり農園の視察・コミュニティバス体験乗車

7月9日、総務常任委員会は西庁舎から老人福祉センターに引越したばかりの社会福祉協議会を訪れ、津野町就労継続支援B型事業所「どんぐり

り農園グリーンネ」作業所里楽」についての制度や現状を聞いた。

その後、どんぐり農園の作業風景を視察。強い日差しの中、職員も利用者も熱心に花ニラの収穫等を行っていた。「ダイエットになるで」「日焼け止めを買うてく」などと明るく作業をしているが、長時間の作業となると大変だと感じる。就労支援事業を行う授産事業と、日常生活の自立に向けた訓練を目的とした事業所運営の二つの財布を混じばいけない上、売り上げを翌年に繰り越すことができにくい制度の厳しさもある。しかし、授産事業に関しては売り上げが増えれば利用者の臨時賞与に繋がり、生活の質の向上に繋がる。連作の難しさや天候・病害虫による不作、利用者の体調等により経営の視点では不安定であるが新規利用者も増え、利用者やその家族にとってもなくてはなら

ない存在である。共有できた課題解決に向けて共に探っていききたい。

次に、百間は一見に如かずとのことで、コミュニティバスの体験乗車。この日は枝ヶ谷線。バスの中は快適だが、待ち時間等、利用者にとっては少々不満もありそうだ。乗り合わせた住民の話にもあつたように、雨の日でなければ分からないことや、一部路線では分からないこと等、沢山あるだろう。今後もそういった意識を持ち続けたいものだ。



どんぐり農園視察

東洋町議会との 意見交換会

去る4月23日、本庁において地産外商・総合商社化の取組みや議会運営に関し、意見交換会を行った。



津野町産松をふんだんに使った訓子府認定こども園

議会のうごき

5月

- 10 須崎地区地域安全協会
総会 (須崎市・議長)
第36回高幡町村議会議
長会定期総会
(本庁・議長)

- 11 商工会理事會
(町内・議長外)



東洋町議会との
研修・意見交換会

- 13 訓子府町・浦幌町視察
研修 (北海道・議員)

- 17 移動土木事務所
(西庁・議員)

- 20 第29回かつお祭
(中土佐町・議長)

- 24 津野町商工会第14回通常
総会 (西庁・議長外)

- 25 国道197号等整備促進期成
同盟会総会 (高知市・議長)

- 28 町村議会議長・副議長研
修会 (東京都・正副議長)

- 4 議会運営委員会
(本庁・委員)

- 8 第2回津野町議会定例
会 (西庁・議員)

- 8 老人クラブ連合会総会
(西庁・議長)

- 2 議会運営委員会
(西万十町・議員)

- 9 第3回津野町議会臨時
会 (西庁・議員)

- 9 休会 (西庁・議員)

- 12 一般質問 (西庁・議員)

- 13 議案審議・閉会
(西庁・議員)

- 20 ふるさと新莊川清流保
全協議会通常総会
(須崎市・議長)

- 22 警察官友の会須崎支部
役員会・総会
(須崎市・議長)

- 25 高知県町村議会議長会
監査・理事会
(高知市・副議長)

- 26 青少年育成津野町民会
議総会 (本庁・議員)

- 2 議会運営委員会
(西万十町・議員)

- 9 第3回津野町議会臨時
会 (西庁・議員)

- 29 津野消防団連合演習
(西運動公園他・議員)

- 11 議会だより発行調査特
別委員会 (本庁・委員)

- 11 議会だより発行調査特
別委員会 (本庁・委員)

- 13 高幡広域市町村圏事務
組合議会定例会
(西万十町・議長)

- 17 議会だより発行調査特
別委員会 (本庁・委員)

- 18 高幡東部清掃組合臨時
会 (中土佐町・議長外)

- 19 市町村議会議員研修
会 (高知市・議員)

- 20 高幡地区森林組合プロ
ツク協議会総会
(西庁・議長)

- 27 津野町議員出張懇談会
(本庁・議員)

- 28 高原荘納涼祭
(高原荘・議員)

- 29 津野消防団連合演習
(西運動公園他・議員)

- 11 津野町議会だより
(本庁・委員)

- 11 津野町議会だより
(本庁・委員)

読者クイズ

下記の問題の○に入る言葉のうち①～⑤を繋いで言葉を完成させてね。

答えは今月号の議会だよりの中にあるよ？

1. 津野町が購入した「河田 小龍」作、虎の○①○絵
2. 町民の健康づくり活動の取り組みを応援する津野町健康○②○○○事業
3. 小学校では道徳教育が○○○③化された
4. 人口減少にブレーキをかけることを目指した移住定住促進・④○○○流出抑制・転入促進
5. 津野町の就労継続支援B型事業所○○○⑤農園 グリューネ、作業所 里楽



前回の答えは「シンリヨク」でした。厳正な抽選の結果、下記の5名が当選されました。おめでとうございます。

お寄せいただいた感想
ご意見の一部紹介

★津野町のことを知るために、もっと議会だよりを読もうと思いました。

★限られた紙面ではあるが、もっと分かり易く編集できないものかと思いました。

★よく考えて作られたクイズだと思います。答えを探すため議会だよりをきちんと読みました。

官製はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号
クイズの答え、感想など一言をご記入の上、8
月末日までに下記の議会事務局までご応募下さ
い。正解者の中から抽選で5名の方に、プレゼ
ントをお送りいたします。なお、当選者は次号
にて発表いたします。
たくさんのご応募お待ちしております。



前回の当選者に送られたプレゼント

白石	杉ノ川	姫野々	姫野々	姫野々
中久保竹美	片岡 裕太	中山 朝輝	高橋 益恵	宮地 昭典
様	様	様	様	様

編集後記

蝶が怖いと泣く愛ちゃんに「もう大丈夫よ」と友達想いの舞ちゃん。羽がとれた蝶を見て「可哀想」と泣く優ちゃん。どちらも優しいです。さて、あなたなら？皆が笑顔になれるにはどうすれば良かったかな？これを話し合うのが道徳教育では？そして、民主主義の原点でもあり地方創生への道筋では？答えは出ないかもしれませんが、でも、話

津野町議会だより 発行調査特別委員会

委員長	西元和代
副委員長	石川寿朗
委員	中山昭英
委員	川上智子
委員	大崎健夫
委員	大崎芳章

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

津野町役場議会事務局
津野町永野四七一―

〈文責 西元和代〉

ぜひ、議員出張懇談会にお申込み下さい。お待ちしております。

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。